



所内第8回写真コンクール作品「堆積」技術部地球化学課  
伊藤司郎

## 堆 積

この堆積層は 火山岩の礫と火山灰との互層である。 というわけで 何ら変わったこともないようだが よく見ていただきたい。 礫とそのまわりの砂質の部分とは 互いに力学的に関係しあい あたかも堆積学のための一標本になっているかのようだ。 砂質の部分が凝結していない時に運ばれてきた礫が沈降したような模様 あるいは礫のために堆積がすなおに行なわれなかった様子など 種々の観察ができよう。

海岸を歩いて このような風物にカメラを向けたいくなるのは 地質学的感覚によるものか それとも芸術家の美的感覚によるものだろうか。 ここは長崎県・五島列島北端の宇久島西部 飯良崎。 玄武岩熔岩の上位にあたる。

### 地質調査所員の海外旅行(昭和37年1月~12月まで)

氏名	国名	期間	目的
高島 清	インドネシア	22/1~1年	技術指導
坂巻 幸雄	アメリカ	26/3~26/9	原子力留学
砂川 一郎	アメリカ	17/4~20/4	国際鉱物学会
徳永 重元	アメリカ	16/4~26/4	世界花粉学会議
蔵田 延男	タイ	22/4~10/5	地下水開発会議
肥田 昇	アメリカ	30/7~半年	原子力 留学
安斎 俊男	インドネシア	2/8~2/9	技術協力
菊池 徹	インドネシア	2/8~2/9	〃
石和田 靖章	イラン	1/9~15/9	石油シンポジウム
佐々木 昭	カナダ	24/9~1年	留 学
大町北一郎	オーストラリア	29/9~28/10	鉱物資源調査援助
平山 健	イラン	30/10~1年	技術協力
竹田 英夫	エクアドル	15/11~約4カ月	鉱物資源開発 技術協力

### 昭和37年中に来訪した外人

3・5	C・Yリー博士	エカフエ事務局長
3・7	J・コットン氏	オーストラリア
〃	J・ユリア氏	オーストラリア
3・14	I・アーメッド氏	パキスタン地質調査所
3・27	陳志賢氏	台湾・留学生
4・3	ディック博士	モーシャル博士 ニューゼーランド 科学工業技術庁地質委員
5・7	ハリソン博士	他30名 国際火山学会議メンバー
6・10	カーペンター博士	アメリカ・コロラド大学
7・1	R・W・チュニ博士	アメリカ・カリフォルニア大学
9・6	パッド・ルーム氏	インドネシア
9・6	チュリアン教授	フランス ソルボンヌ大学

- 10・9 チェリー氏 他1名 フランス クリステンセン会社
  - 10・12 J・ジャック スイス博物館
  - 10・16 オルージュフ・サビト・アクーエヴィッチ チモフエーフ・ニコライ・ステパーノヴィッチ サラーモフ・スフルド・ユンク・オグルイ ガゲリガンフ・アンドレイ・アンドレヴィッチ ムサレウロフ・ダビド・コンスタンヴィッチ 以上5名 ソ連石油海上探査団
  - 10・19 L・スタック氏 アメリカ地質調査所
  - 10・24 W・ジェンクス博士 アメリカ・シンシナチ大学
  - 11・7 アグエル博士 イギリス・ケンブリッジ大学
  - 11・7 D・ジョンストン博士 アメリカ地質調査所海外部長
  - 11・20 E・L・ルッカス氏 アメリカ・オクラホマ大学
  - 11・27 李高万氏 韓国地質調査所
- あとがき

- ・あけましておめでとうございます
- ・ウサギ年を迎えさらに飛躍前進したいと考えております 本年もよろしくお願ひ申し上げます 編集部一同
- ・お正月らしく海の調査を特集しました

## 地質 ニュース

第101号 1月号  
定価 ¥170 円12

昭和38年1月25日 発行

編集 工業技術院 地質調査所  
 発行人 吉 富 保 重  
 発行所 株式会社 実業公報社  
 東京都千代田区九段4の11  
 Tel. (331) 7173・9387  
 振替口座 東京 32466  
 印刷所 共同印刷株式会社